

男と女の家計簿

お互いが自分のお金を自由に使える独身時代と違い、結婚後の夫婦にとって、家計管理は重要な問題です。特に夫婦間の金銭感覚の違いは、今後の二人の人生に密接に関わりますので、大きな問題に膨れ上がる前に解決したいですね。

一般的に男性と女性のお金の使い方には違いがあるといわれています。例えば男性は「必要」に弱く、女性は「お得感」に弱いようです。男性は必要のないものにお金は使いませんが、必要であると判断すれば、値段が高くても買ってしまいう傾向があります。女性からすれば「なんでもこんなもの高いお金を払ったの？」と思うことでしょう。その一方で、女性は「本日限り3割引!」のような広告を見つけると、それほど必要ないと思われるものでもつい買ってしまいう傾向があります。男性は「なんでこんな必要ないものを買ったんだ?」と呆れてしまいかもしれません。

また男性は日常のモチベーションを高めるための投資を好むようです。毎日使う腕時計や車など、少しでも質の良いもの、ランクの高いものを手に入れるために、労力を惜しまず時間をかけて調べたり、節約したり、仕事を頑張ったりする傾向があります。一方女性は、日々の生活の質を高め、日常に小さな幸せを感じられることを求めるようです。仕事帰りにスイーツを買う、ランチ女子会をする、いつもより少しだけ贅沢をするなど、頑張った自分にご褒美をあげるの、女性特有のお金の使い方といわれます。

もちろんこれは一般的な特徴で、当てはまらないこともあるでしょう。大切なことは、お互いの金銭感覚の違いを理解した上で、それぞれの家庭に合った家計管理を二人で相談して決めていくことです。人生を共にするパートナーですから、お金に関する考え方も、しっかりと共有しておきたいものです。

〈他人事じゃない!? 怖~いトラブル〉

消費生活のお話

まちづくり推進課(内線185)

開運商法・靈感商法にご注意を

(事例)

- ① 開運グッズの購入をきっかけに、さらに運氣が上がると言って、より高額な商品の購入を迫る。
- ② 人の悩みに付け込んで、悩みを取り除くための「祈祷サービス」契約を繰り返し結ばせる。
- ③ メールで占いをしてもらい、不安をおおる内容で有料のやり取りを強要する。

こうした悪質商法の被害は、折り込み広告や雑誌の広告、ネットの占いサイトなどがきっかけとなることが多いですが、最近ではコミュニケーションサイトの個人同士のやり取りを介した手口も増加しています。

①②③の内容が「契約である」と言われると、少し違和感があるかもしれませんが、これらはれっきとした契約行為にあたります。契約する前に冷静になって考えましょう。また、クーリングオフが適用できる場合もあります。

少しでも不安に思ったらご相談ください。

消費生活相談窓口

日時 月~金曜日 午前9時~午後4時(予約優先)

場所 市役所1階 まちづくり推進課

※相談には、できるだけ契約者本人がお越しください。

